

てしお

第 137 号

平成 24 年 5 月 30 日発行

# 議会だより



鏡沼クリーンアップ作戦（4月29日撮影）

## 目次

- 第1回町議会定例会、補正予算、条例改正ほか ..... 2頁
- 一般質問（6氏8件）
  - ・山本議員 「天塩町における今後の防災対策について」  
ほか1件 ..... 3頁
  - ・川端議員 「商店街の必要性和買い物弱者について」 ..... 5頁
  - ・渡辺議員 「町政執行方針について」ほか1件 ..... 6頁
  - ・横山議員 「予防医学の推進について」 ..... 8頁
  - ・菊地議員 「協働のまちづくり推進の基本姿勢について」 9頁
  - ・遠藤議員 「子供教育の安全確保と中・長期的な学校運営  
について」 ..... 10頁
- 予算審議特別委員会 ..... 11頁
- 行政報告、議会日誌など ..... 12頁

# 第1回天塩町議会定例会

3月定例会は、3月6日から19日までの14日間の会期で開かれました。

23年度補正予算などの審議のあと、浅田町長が24年度町政執行方針・予算提案説明を述べて休会。14日に再開した後、6名の一般質問、議案審査に続き24年度各会計予算等審査のため特別委員会を設置しました。予算案等10件は2日間にわたり慎重に審議したあと、本会議再開後は、委員長の報告のとおり決し19日、閉会しました。

## 一般会計 補正予算

23年度一般会計補正予算（第7号）は、5千163万6千円を追加し、総額を43億1千781万9千円としました。

## 条例 その他

●天塩町社会教育会館設置条例の一部改正

・更岸地区社会教育会館の追加

●天塩町営住宅管理条例の一部改正

・入居者の資格について、裁量階層の適用範囲および、入居収入基準を規定

・天塩町立国民健康保険病院医療技術者就労奨励金条例の制定

・医療技術者に対する就労奨励金貸付制度の制定

●天塩町乳幼児等医療の給付に関する条例の一部改正

・助成対象者を3歳から中学生まで拡大する

●天塩町介護保険条例の一部改正

・第1号被保険者の保険料の増額に伴う改正

●天塩町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正

・外国人登録制度を廃止し、外国人住民を住民基本台帳法の適用対象に

●天塩町医療職員養成修学資金貸付条例の一部改正

・看護師就学貸付金の増額

●天塩町立国民健康保険病院看護師就労奨励金条例を廃止する条例の制定

・条例の廃止

●天塩町議会の議決すべき事項を定める条例の制定

・天塩町総合振興計画に係る基本構想及び基本計画の策定、変更又は廃止に関することを議決すべき事件として定める条例の制定

### 監査委員の同意

伊藤 弘氏（66）

山手裏通7丁目 再任

### 指定管理者の決定

○林業センター

○町民保養センター

指定管理者 (株)天塩観光公社

代表取締役社長 桑田 憲治

指定期間 24年4月～27年3月

○特別養護老人ホーム

○デイサービスセンター

○ケアハウス

指定管理者

(福) 天塩町社会福祉協議会

会長 吉田 俊雄

指定期間 24年4月～27年3月

## 町の防災に対する取り組みは

## 町長 防災全般について検討していきたい

## 質問

昨年日本は、地盤沈下、広域に及ぶ津波、原発事故や電力不安など様々な災害が同時多発的に生じました。

東日本大震災から一年が過ぎ、天塩町も昨年は防災無線の欠点を補うべき音声自動応答サービスの実現、携帯電話へのメール発信など速やかに対応をいただきましたことに敬意を表しますが、まだまだ見直さなければならぬところが多くあります。

学校などでの防災に関する取り組みでは避難訓練は消防法で義務づけられておりますが防災教育は法的に

明確な定義も義務もありません。

天塩町として子供たちにどのような防災意識を高める教育をされる考えなのか。

また、災害時における備蓄について、更には津波などに対する標高表示板など町への設置の考えがあるのか。

更には町として防災会議などの定期的開催、自主防災組織の重要性をどのように考えているのか。

## 町長

国の防災会議の地震・津波対策に関する専門調査会は、平成24年度に「津波避難計画」を作成し、避難対象地域の指定、避難先の指定、避難経路の設定などを明示することとなっており、「地域」ごとの津波避難計画」も策定することとなっております。

次に、備蓄品の見直しは、津波避難対象区の人口、約560人をベースに2000食分程度の備蓄を進めていきたいと考えております。



山本 春光 議員

次に、避難対策としての標高表示板の設置は、この新年度に開発の治水事業で教箇所、設置する予定であり、町としても検討して参りたいと考えております。

防災会議については、津波避難計画の策定など、会議の頻度も、増すものと考えております。

防災会議は、その重要性については十分認識しているとされており、町内会連合会などを通じて「組織の立上げ」をお願いしております。

また、災害時における初期活動としまして、迅速な情報伝達が欠かせないことから、これまでの情報伝達手段に加え「地域エリアメール」の活用についても考えてまいりたいと思っております。

## 教育長

防災教育は、天塩町として、子どもたちにどのような防災意識を高める教育を平成23年度に新たに制定しました。

これまで各学校では、毎年、地震・火災等の避難訓練は実施しておりますが、津波に関する訓練は、昨年9月の小中学生の津波避難合同訓練を除いては、これまで実施していない状況です。

先日の天塩町防災会議の中で、「町津波避難計画」を平成24年度に

作成する旨の方針を打ち出したところでです。

津波は、一度発生すると、町民の生命・身体及び財産に甚大な被害を及ぼす可能性がありますことから、国・道の調査研究の成果を踏まえ、学校現場における防災意識を高める教育も含め、防災上必要な教育及び訓練などを実施し、津波避難対策に万全を期してまいりたいと考えております。

## ひとくちメモ

## 「地域エリアメール」

気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、地方公共団体が発信する災害・避難情報などを受信することができるNTTドコモの携帯電話向けサービス。対象エリアにいる利用者に限定して配信するため、輻輳（ふくそう※）の影響を受けないとされている。

※物が1か所に集中し混雑する状態

山本 春光 議員

## 住環境補助対策を再度 推進するべき

町長 新築補助の再開は、  
かなり難しい

また、住環境の整備に伴う解体費補助対象としての新たな取り組みを  
考えられないのか。

町長

新築住宅補助制度は、平成5年度から平成19年度までの15年間、実施をさせていただきまして、190件2億489万8千円の助成総額となっております。

相当期間に亘って実施をしてきましたが、一定の成果があったものと考えられることや、小学校の建替えを控え、財政の健全化が必要であったことなどの理由から現時点で再開は、かなり難しいと思っております。

次に、雪によって倒壊した建物の財政支援は、国や道への財政支援要請につきましては、その被害規模などから難しいものと考えております。

また、町が実施している住宅リフォーム事業の特例適用は、その目的が異なるということから慎重な対応をしていかなければならないと考えております。

年齢的な要件や所得要件など、町民の理解を得られることが大事だとこのように考えておりまして、被害の実態調査やルール作りを経て検討したいと考えております。

次に、廃屋になつていて、今回の雪害による建物の解体に対する補助

制度については、建物の所有者による解体が基本であると、このように考えており、実態調査やそのルール作りを経て検討したいと考えております。

### 意見書

【国の出先機関改革に関する  
意見書】

北海道開発局の廃止は、北海道開発の必要性や国庫補助・負担率の廃止につながるものであり、それによる基盤整備の立ち遅れによって、経済格差の拡大が懸念されるとともに、公共事業等の減少による地域経済に及ぼす影響は計り知れないものがあります。

出先機関改革については、拙速に結論をだすことなく十分な情報提供を行うとともに、地元自治体の意見を聴くなど、慎重に検討を進めることを要望します。

【道立羽幌病院における地域  
医療の充実を求める意見書】

道立羽幌病院は留萌中部・北部のセンター病院として、大きな役割を

担っており地域住民にとってなくてはならない医療機関であります。

しかし、現在は医師不足に外来診療の縮小や病床の一部休止など地域センター病院としての機能存続が危惧される状況となっております。

地域住民が安心して必要な医療を継続して受けることが出来るよう地域医療の充実に向け強く要望します。

【地域医療の充実を求める意  
見書】

地域の中核となるセンター病院においては、医療に従事する常勤医師が極めて不足しており、特に小児科医や産婦人科医、麻酔科医の不在による診療科目の休止により、出産の取り扱い中止や救急医療体制の維持にも支障が生じ危機的状況にあります。

厚生労働省の見直しにより2次医療圏が広がると、遠方への通院は精神的、経済的負担はもとより、冬期間の救急搬送は一刻を争うことから地域住民の不安は計り知れないものとなります。

地域医療は、住民の生命・健康に直結するものであり、地域住民が安心して必要な医療を継続して受けることが出来るよう、強く要望します。

質問

地元経済活性化対策の一環として実施をしている住宅リフォーム費用の一部助成事業の取り組みは、近年各企業の需要が落ち込んでいる中、我が町として大変に素晴らしいことと評価をいたします。ぜひとも永続的な取り組みができますよう期待をいたします。

また天塩町として以前、新築住宅に対しても助成をされていたこともお聞きをいたしておりますが、将来いろいろな方々が天塩町に希望を見出せる町として定住の促進と住環境の整備を目的に新築住宅建設の補助対策を再度推進するべきでは。



川端 英嗣 議員

川端 英嗣 議員

## 買物難民・買物弱者に対しての手助け・助成等は

町長 商工会等と検討協議を重ね、取り組む

質問

商店の撤退・閉店や交通手段の不足により日常の買い物に不自由になる高齢者を買物難民・買物弱者と言っております。

天塩町の現状として、物販関係30店舗中、60歳以上の経営者は22名で7割以上を締めております。十年後には70歳以上の経営者は22名になると思われます。このままだと経営者の高齢化・後継者不足により、7店舗しか残らないかもしれません。高齢者・車の無い方には商店街は必要だろうと思えます。

① 行政として、商店街の必要性をどう考えるのか。

② 天塩町の取り組みは。

③ 物品購入は、出来るだけ地元での考えはあるのか。

④ これから廃業せざるを得ない商店がたくさん出てきて商店街が成り立たなくなると懸念されるが、後継者のいない商店を絶やさない為に、それを引き継ぎたいという希望者に何らかの手助け・助成等はできないか。

町長

① 商店街は、私達のくらしに欠くことのできない大切な役割を果たしており、活力あるまちづくりに欠くことのできない大切なものと認識して

います。

② その取り組みで、高齢者福祉の取り組みとしてホームヘルプサービスを実施しています。

③ 物品購入については、天塩町の振興計画において「町内で購入・消費できるものは、町内で消費しよう」と定め、平成23年12月から3ヶ月の実績としては、町内で40%・町外で60%です。

④ 商店を引き継ぎたいという希望者に何らかの手助け・助成等につきましては、様々な角度から商工会などと検討協議を重ね、商工会や商店街等の主体的・意欲的な取り組みについては、国や道と連携を図り、必要な施策を行います。

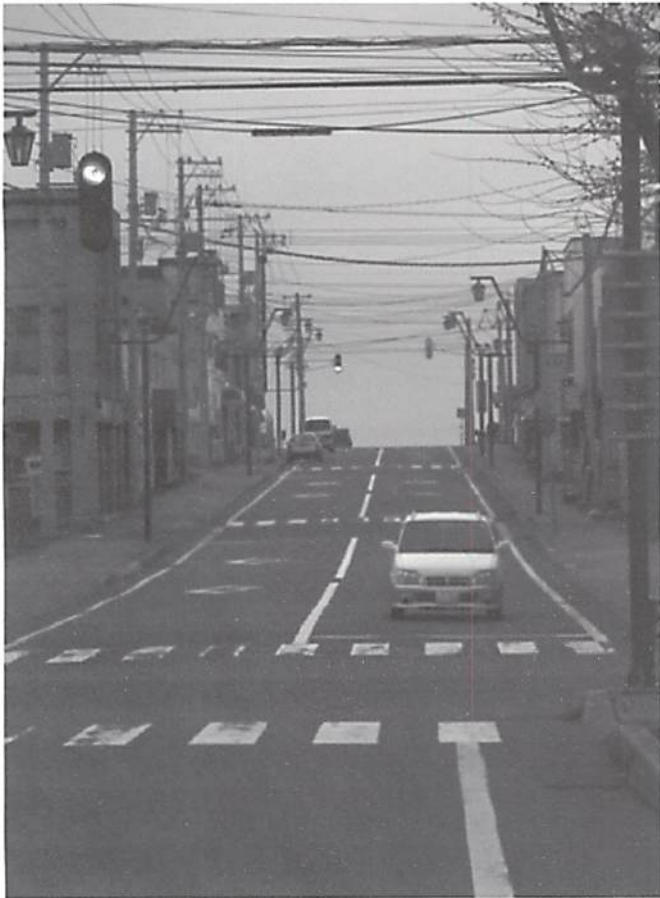
質問

地元商店を無くしないよう、今から事業継承制度などを作っておくことが私達の勤めであると考えているが、物品購入について、この商品は地元では扱えないだろうと思うものでも一度地元商店に声をかけていたきたい。

また、商店街再編について、経営者に資金面での負担をかけない方法で商店を一箇所に集約する考えは。

町長

旧駅前通を重要視して取組みたいが、今の段階では考えていません。



再編が求められる旧駅前通商店街

渡辺 修勝 議員

# 「人と自然が共生、こころ豊かで地域が輝く住みよいまち」の実現は

## 町長 今後も町政運営に万全を期したい



渡辺 修勝 議員

を確保することができました。関係団体等と協議し計画の達成に引き続き努力をしてまいります。

2点目は、平成22年の記録的な集中豪雨による未曾有の大災害でございます。特に更岸と泉源水源地の土砂崩れから町内ほぼ全域で4日間断水となり、町民の皆様には大変なご迷惑をおかけいたしましたことを心よりお詫び申し上げます。

水源や水道施設の問題点の見直しなど、再び断水することのない様、様々な方向から検討を進め対策をしてまいりますと存じております。

3点目は、町の発展を担う基幹産業として位置づけられている農業振興対策です。

計画事業費は66億円で平成17年度から取り組んだ富士見地区農地防災事業は平成24年度で完了する見込みです。

また、平成24年度から29年度において、労働力の補完や分業化による

大型酪農の推進を図るため、新たに冬期飼育施設2棟の建設などを道営草地畜産基盤整備事業を活用した公共牧場整備に取り組んでまいります。さらに、平成24年2月に行った東日本大震災に伴う緊急飼料支援事業は、町と議会が一体となった取り組みとして、天塩町農協及び地元の酪農家をはじめ多くの関係機関のご協力により、天塩港から福島県小名浜港への牧草ロール等の支援を海上輸送にて実現をいたしました。今後も支援を続ける努力と、他産業分野への波及的な地域活性化対策も考え合わせながら取り組んでまいりたいと存じております。

この3点に止まらず、病院・学校・しじみ資源・河川・道路・港湾・農業・商工業・教育文化・少子高齢化・人口・災害など、どの分野も重要そのものでありますので、今後も町政運営に万全を期してまいりますと存じます。

### 質問

振興計画を実施していくためには、お金が伴います。その基礎になるのは町民の税金であり、使用料であり、利用料であります。これが等しく公平に行われているのかどうか。

また税金では、国民健康保険税が多額の滞納になっておりますが、町

民の中には自分が病院にかからなければならぬ時のために、貯金を崩したり、借入れをしたりして、保険税を完納して人もたくさんおります。

滞納者には、被保険者資格証明書の交付措置で対応するようでありますが、資格証明書の解除は、滞納額の完納が原則であるべきでは。

### 福祉課長

このへんのところは天塩町国民健康保険取扱の審査委員会で審査すべきものであり、この審査委員会の委員長が不在ということで、現状をこのまま続けていくのであれば、要綱の整備が必要なのでは。

被保険者資格証明書は現在、発行している方はございません。短期証というところで、発行している方が数名います。

ただその解除は、滞納者へ督促をしながら、その状況に応じて対応させていただきます。よろしくお願いいたします。

滞納対策、滞納者への収納対策ということで本部を設けてまして、一人別の状況をしつかり押さえながら、更に努力をしております。天塩町国民健康保険取扱要綱の内容は、審査委員会の委員構成は、副町長、総務財政課長、福祉課長とし、委員長には副町長があたります。

### 質問

第6期天塩町総合振興計画は「人と自然が共生、こころ豊かで地域が輝く住みよいまち」の実現に向けて、町民と行政の協働を推進力として、着実に前進していくことが重要としておりますが、これまでにそのレールの浮き沈みがあったのかどうか。あるとすれば上位3点は。

### 町長

1点目は、平成19年度から平成22年度の4年間にわたり、町民の皆様のご協力をいただきながら天塩町財政健全化計画を進めてまいりました。結果として、目標を上回る基金残高

渡辺 修勝 議員

## 農業委員会活動の内容は

### 町長 3部会を設けて関係機関と連携しながら活動します

町長

現在、副町長を置いてないという実態なので、その任は町長が行うようにしてまいりたいと思います。これ以外にも関連するような内容のものがありますので、全部見直していきたいと考えます。

質問

町長が代行できないという文言の要綱、要領も含まれております。このへんのところを慎重に検討し、なおかつ、要綱の改正・文言の整備を行い、業務の適正を確保するための体制が必要では。

町長

それぞれの課にまたがっていると、思いますので、その担当する課ごとでできるだけ速やかにその機能が果たせるような形にしてまいりたいと思います。

質問

農業委員会活動について、  
 ①農業委員会に農業委員会憲章はあるのかどうか。  
 ②農業委員会等に関する法律の中で委員が21人以上の場合は部会を設けるようになっていますが、天塩は21人に達していませんが、部会を設置しているのか。  
 ③遊休農地を監視してどうしようとしているのか。  
 ④農家の世話人として生活から農業経営まで相談を受けることとしているが、その実績があるのか。  
 ⑤農地の利用調整斡旋の中で、どんな方法を考えているのか。  
 ⑥後継者不足、経営者の高齢化、後継者の花嫁問題、これらの方策は。  
 ⑦農業者年金の加入推進部会があるのか。  
 ⑧23年度の研修の実績と24年度のテーマは。

農業委員会事務局長

①「全国農業委員会会長大会」の中で5項目による農業委員憲章が採択されており、それに準じているため、天塩町農業委員会憲章は、制定されておりません。

②農地部会、農業振興部会、花嫁対策部会の3部会を設けております。  
 ③農地パトロールは、遊休農地の発生活止、解消や無断転用・産業廃棄物の不法投棄を防ぐ目的としております。  
 ④農家からの相談の実績は各委員から活動記録の点検、確認を行っております。早急に対応いたします。  
 ⑤農地の利用調整斡旋は最近なく、相対での農用地利用集積が成立しております。ただし、今後離農者等があった場合については、農協と連携を取り、対応にあたりたいです。  
 ⑥後継者対策は、町ホームページに新規就農受入募集の掲載をしております。  
 また、関係機関と連携も持ちながら後継者には交流会などの情報提供や積極的な出席を助長し、推進を図っていききたいと考えております。  
 ⑦農業委員会の中に、天塩町農業者年金協議会があり、その中で年金加入促進と啓蒙普及を図っております。

⑧研修会・学習会は、7月改選後行っておりません。

24年度のテーマは、4月の総会の中で新年度のテーマを協議させていただきます。

質問

①地域を考えた農業委員会憲章があつて然るべきと思いますが、今後検討しては。  
 ②また、農地斡旋について会長の意気込みは。  
 ③花嫁対策について、1次産業の人達にこだわらず、2次、3次産業の人達全てを対象に町村持ち回りのイベントとして、農業委員会の組織力を生かした筋道ができないものか。

農業委員会会長

①農業委員会憲章について、委員と充分協議をして、問題に取り組みたいと考えております。  
 ②農地の斡旋は、本来的に行うのが役目であると思っておりますが、最近相対のケースがほとんどなので、残念ながら、どうしようもないというのが最終的な結論であります。  
 ③後継者対策、花嫁対策は農業委員会単独では、この問題は解決できないので、後継者対策協議会と一緒に、対策を講じたいと考えます。

横山 敦 議員

## インフルエンザ対策や免疫力向上の取り組みを実施できないか

町立病院や関係機関  
と協議し実施する  
町長



横山 敦 議員

入ったヨーグルトを町内の幼児・児童2,468人に毎日飲ませたところインフルエンザの患者数が全国平均の10分の1以下に激減、明らかないんフルエンザ予防効果が実証されております。

このようなインフルエンザ予防対策や免疫力向上のための取り組みを町でも実施できないか。

質問  
今年1月中旬より、当町においてもA型B型インフルエンザが流行し、小・中学校で、学年閉鎖や臨時休校の措置となりました。多くの幼児や児童生徒が長時間一緒に暮らす保育所や学校という場合は、インフルエンザ伝染の危険性が高く、予防接種の実施やマスクなどの着用予防策とうがい・手洗いの慣行など、積極的に取り組んでいたのにも拘らず、残念ながら集団感染をしまった状況にあります。

このインフルエンザ対策として佐賀県有田町では、R-1乳酸菌が

ヨーグルトの摂取による予防・抑制効果につきましては、本町としても予防対策について町立病院や関係機関などと検討してまいりたいと考えております。

2点目のインフルエンザ予防接種補助対象を子供にも拡大できないかとのご質問でございますが、現在、接種費用は全額本人負担となっております。

予防接種費用の町費助成につきましては、任意の予防接種に関する公費負担状況を参考に、本町の子育て支援対策として協議を進めてまいりたいと存じます。

3点目のピロリ菌感染検査の周知と受診させるための取組みを実施できないかとのご質問でございますが、ピロリ菌除菌による予防対策を、町立病院や関係機関などと検討するとともに、町民の皆さんへも情報提供を行うてまいりたいと考えております。

町長

インフルエンザの流行期の前には、予防接種を実施しており、乳幼児・小・中学生135人、接種率は29.7%

、64歳以下では325人、接種率は15.7%、65歳以上は532人で接種率は52.3%となっております。

また、1073R-1乳酸菌入り

質問

インフルエンザ予防接種の実施状況ですが、乳幼児、小中学生の接種率が30%以下、更に64歳以下は15%程度と低く、またこれに反して、65歳以上が50%を超えているという背景には、接種費用が全額本人負担であることによる経済的な要因も考え

られますので、予防接種の補助対象の拡大と共に接種率の向上に努めていただきたいと思います。

また、ヨーグルトの効能については免疫機能の向上や病原菌の感染防止など様々な効果を実証されており、ピロリ菌にはLG21ガセリ菌が有効とされており、このようにヨーグルトに含まれる乳酸菌の種類により、様々な効果が期待でき、かつ、手軽に始められるため、酪農業中心の我が町らしい、特色のある、ヨーグルトを活用した健康づくりや食による健康増進を実施してみてもどうか。

町長

インフルエンザの流行は非常に大きな問題であると思っております。負担が大きいため子供さんが予防接種を受けられない環境を少しでも緩和していき、子育てのしやすい環境を作っていきたい。

ヨーグルトの効果というものがこれほど大きなものであるというのは、私も認識不足であります。

よく勉強して、病院の先生方の意見をしっかりと聞いてその効果がある方法に向けて努力をしてまいりたい。



## 住民生活維持の基本となる経済の安定対策は

町長 收支バランスを確保しながら、健全性を維持したい

経費の縮減と利用人口の大幅な増加につながっております。

また、協働の意義が深く確認されたのが、一昨年の8月に起きた記録的な集中豪雨による被害でございます。

町内会の皆様はじめ建設協会・農協・漁協・森林組合のほか、天塩警察署、消防等の協力により、住民の安全を第一に対応を行うことができ、この災害を契機として、協働のまちづくりが一層波及するきっかけになったと思っております。

町財政を取り巻く環境は激動の中での推進ということになります。国際化が一層進んでいく、このことは避けられない現状でありまして、これを背景に、收支バランスをいかに確保し、健全性を維持しながら、最大限の対策を行なっていくことが原則でありますので、これに沿って前進するよう全力で取り組んでまいりたいと存じます。

### 質問

天塩港の北導流堤の災害について、この事業は、開発建設部が施行してありますが、本来、港湾管理者である天塩町が発注者として修復できた事業であったと認識しております。

本町の税金の持ち出し工事については、特殊なもの以外は地元優先をさせていただき、それに伴い、大きな普及効果ができたという考えはなかったのか。

干拓の公共牧場を本町の業者で実施した実績を元にお話しますが、平成24年度、道営草地畜産基盤整備事業（公共牧場中核型）、この調査設計に本年度4,200万、4年で6,500万の調査設計が見込まれております。

この事業は5年間で総額8億1千万円の予算であり、予算の25%が地元負担であるというふうに認識しております。

この工事について道営ですので、地元への施行にはならないものと思えます。

再三になりますが、浅田町長の理念である、協働を目指すものであれば、地元優先で発注をし、それに伴う経済効果と暮らしを守る雇用創出は必須なのは。

### 町長

今後、北導流堤はまだまだこれからの、修復事業をやっていかねればならない場所ですので、いろんな面で検討してまいりたいと考えます。干拓牧場、北川口については、町の財政的な面も含めて、一番有利な条件は何なのかということやってきたわけでもあります。

このほかにも国や道の事業については今年も行われるだろうと思っておりますので、できるだけそういう機会に恵まれるように町としても努力をしてまいりたいと思っております。

### 質問

町長は、2期目の本格始動の執行方針で、厳しく困難な時代背景にあります。本町の資源を活かし、行政と住民が一体となって、協働のまちづくりに取り組む強い姿勢を表現しています。

住民生活維持の基本となる経済の安定対策を具体的にどのように進めようとしているのか。

### 町長

本町の直近の具体的な例といたしましては、町民スキー場の運営管理について、天塩町スキー連盟の管理運営にかかる協力・支援を受けたことから運営が継続可能となり、管理



菊地 敏 議員



平成22年8月の集中豪雨による被害

遠藤 功議員

## 学校現場での指導体制 や安全確保に問題は

町長 積極的に参加し、安全指導を徹底  
習会等積極的に参加し、安全指導を徹底  
加底させたい



遠藤 功 議員

中・長期的な学校運営の考えについて  
④年少人口が著しく減少する傾向にあって、小中学校の在り方も10年20年の先を見据えた中で検討する必要があると考えますが町はどの年まで運営計画とするのか。

### 教育長

①天塩中学校は、柔道、啓徳中学校は、剣道を必修科目にしました。  
②天塩中学校は、新年度に入りまして、年度始めの父母参観日及びPTA総会時に、保健体育科に武道の「柔道」を導入することと、安全面への配慮の説明と、生徒に対しても履修前に十分な指導をしてまいりたいと考えております。

子供教育の安全確保と中・長期的な学校運営について  
①中学校教育の安全対策の万全について、天塩、啓徳中学校では、4月から国の指導に基づいて男女ともに日本の伝統的武道の授業が行われることになっております。  
町は必修科目に柔道、剣道、相撲のどの競技科目を選定されたのか。  
②必修科目の選択に当たって、生徒や保護者へ安全性や危険性についての説明は行われたのか。  
③学校現場での指導体制は安全確保に問題や課題はないのか。

啓徳中学校では、小学校6年生、中学校の保護者に対し、既に参観日全体懇談会で、「剣道」を導入することの説明と、指導に当たった安全面への配慮について理解を求めたところであります。

③各学校の体育教師は、これまで、「武道講習会」等に参加して指導法等について研修を深めており、今後においても講習会に積極的に参加し、安全指導を徹底させたいと考えております。

### 町長

④中・長期的な学校運営の考えについて、将来の天塩町の姿を、現在の激動する日本の社会情勢の中で、10年、20年先の町全体を見据えることは大変難しいことでありますけれども、若者が定着できる環境づくり、企業誘致などによる働く場の創出などの取り組み、子育てしやすい環境づくりなど重点的な政策を、これまでに以上で考えていかなければならないと考えます。

### 質問

中学校における必修科目の、選択問題については、選択にあたって、どのような議論の過程を得て決定したのか。

### 教育長

武道の導入は国の中教審に基づいて答申されたもので、文科省が柔道、剣道、相撲、この3種類を武道と称して、学校教育に中学校から導入するということを受けて、導入を図ってきました。

実際にこの部分については学校

の方で、どの種目を導入するかを決めさせていただきました。  
武道の中の柔道、剣道、これをどういうようなことで選択したかと言いますと、柔道は、天塩高校が必修ではないんですが、選択で男子は柔道を教えております。そういうことから、天塩中学校は毎年、多くの生徒が天塩高校に入学することと、近くのスポーツセンターに、施設が整ってる関係で授業もすぐ行えることから柔道を選びました。  
それから、剣道は元々啓徳の中学校で、過去に剣道を導入した経緯がありまして、道具等がある程度揃っており、比較的柔道より安全性が高いこともあり、選択をしました。



天塩中学校で必修課目予定の柔道

# 平成24年度予算審議

3月15日から2日間にわたり審査された主な質疑内容を紹介します。

## 予算等審査特別委員会

【家庭菜園鳥獣被害防止対策事業補助金】

家庭菜園鳥獣被害防止対策事業補助金の内容は。

住民課長

家庭菜園をしている方に対して近年、シカ等の被害があるということで、そういうものの防止をするためのものです。

シカ等を防止する電柵ケーブルの設置費用の助成を考えています。

【住宅リフォーム助成金】

横山委員

住宅リフォームの対象は、個人宅、事業所の範囲で間違いないか。

住民課長

個人は専用住宅もしくは併用住宅です。

法人や、個人事業者にかかる部分は、共同住宅であるとか、店舗、事務所が対象となっております。

【パスポート交付事務経費】

川端委員

パスポートの申請受理業務は、いつから、どこの課でやるのか。

住民課長

パスポートの関係は、4月1日から、住民課戸籍係で担当することに

なります。

【ライダーハウスの設置事業】

山本委員

これは今年新たにライダーハウスを建てる計画なのか。

企画商工課長

鏡沼海浜公園内の後期高齢者医療ライダーハウスを新たに更新していきたい。

【学習サポート推進委員会補助金】

遠藤委員

学習サポートをする中身について、

教育長

夏休み期間中の実施の場合に講師に大学生を利用してみては。

過去に大学生を活用した年が1回あり、この時は北大生を含めて3名天塩に来ていただきました。

ただ、人集めにかかなり苦労したことから一般の先生方にどうかということ、23年度からお願いをしたところかなりの数の先生がお手伝いをしてくれました。

結果的には、大学生が来られなくても一般の先生方で十分なサポート教室を実施できております。

## 24年度予算総額

一般会計	39億9,000万円
主な事業	畜産担い手育成総合整備事業
	住宅リフォーム助成事業
	天塩高校通学費助成事業
	火葬炉拡張事業
	市街地排水整備事業
	町道整備補修事業
教職員下水道整備事業	
国民健康保険	5億2,000万円
介護保険(保険勘定)	3億5,700万円
介護保険(サービス)	3,570万円
後期高齢者医療	4,375万円
水道事業	1億9,360万円
下水道事業	2億1,010万円
国保病院事業	7億7,211万9千円
8会計合計	61億2,226万9千円

【インターネット情報化経費】  
遠藤委員  
インターネット情報化経費が増額になっている理由は。  
また、新規事業のブロードバンド普及促進事業の内容は。  
企画商工課長  
ホームページについては、情報媒体の中心であるホームページのリニューアルと、更に閲覧を増やしていきたいということ、地域情報の発信の充実を図るために、ライブカメラの導入をしていきたいと考えます。  
ブロードバンドの普及促進事業は、光通信の整備に向けて、利用料金の啓蒙や周知を行う事業です。

## ○福島県の酪農家に対する飼料支援について

東日本大震災の状況は、今や多くの人々の心に深い衝激を与えると共に現地は未だ瓦礫の山を処理することができない日々が続いており、特に福島県はご存じのとおり原発の被害はあまりに大きな困難・苦難を齎しました。

本町はこれまで町民の皆様の暖かい御支援の数々を東北地方に届けて参りましたが、福島県の奥地には酪農家が多数あり、本町も同じ酪農の町であり、また畜産の町でもあります。本町の特性を生かした牧草の支援が被災地では強く望まれることが判明したことから、2月4日、天塩港より貨物船に積み込み、同7日に福島県いわき市小名浜港に陸揚げすることができました。

2月13日には、同港に於いて同県酪農団体の皆様に引渡し式を行い、受け取り側を代表して、福島県酪農団体協議会の但野会長が敬意と感謝の意が述べられました。

福島には道内各地より支援が寄せられているようですが、酪農は津波の被害は受けなかったものの放射能

の被害が甚大で、米・牧草他、地元生産物は食糧や飼料として使うことができないということ、更に風評被害も大きな損害となり、加えて健康面の不安等解決し得ない事態が山積している中から、何とかこれ乗り越えて頑張ろうとする方々の姿に接しました。

福島の方々は大変喜ばれ、2月29日にはその代表の方々が遠路来町され、関係の皆様との懇談の場において感謝の意が述べられ、天塩町とJAてしおに対し感謝状が贈られました。現地福島は長期にわたり不安と苦難の日々年月を過酷な条件の中で乗り越えなければならぬという実情にあることを思いますと、本町の経済も決して安定しているとは言えませんが、今後とも、町議会を始め、国・道・町の連携を重要な柱とし、住民の皆様の深いご理解を賜りながら、可能な限り同地域に対する支援を続ける努力をして参りたいと思えます。



## 議会のうごき

### 2月

- 2 北海道森林整備加速化・再生事業セミナー〔議長・2議員〕
- 4 故石山直行氏お別れ会〔札幌市、議長〕
- 10 酪農振興協議会〔3議員〕
- 12 東日本大震災飼料支援事業受渡し式（～14）〔福島県いわき市、議長〕
- 15 西天北5町衛生施設組合議会定例会〔幌延町、菊地議員〕
- 16 市町村議会議長と市町村長との意見交換会〔羽幌町、議長〕  
留萌中部・北部地域医療対策協議会〔羽幌町、議長〕
- 17 全員協議会〔全議員〕
- 18 東京都台東区立金竜小学校教職員との交流会〔議長〕
- 25 鈴木宗男新春の集い〔留萌市、議長〕
- 28 北留萌消防組合議会定例会〔羽幌町、遠藤議員〕
- 29 議会運営委員会〔全委員〕 全員協議会〔全議員〕  
東日本大震災牧草支援に係る表敬訪問者との懇談会〔全議員〕  
留萌管内町村議会議長会臨時総会〔苫前町、議長〕

### 3月

- 2 はなます学園大学卒業式〔議長〕
- 3 更岸小学校閉校式・惜別の会〔議長・7議員〕
- 5 西天北5町衛生施設組合議会臨時会〔幌延町、菊地議員〕
- 11 自衛隊入隊者激励会〔稚内市、議長〕
- 21 厳島神社修復期成会〔議長〕
- 22 平野剛留萌駐屯地司令を囲む会〔留萌市、議長〕
- 24 天塩産品味くらべ事業試食交流会〔議長〕
- 26 天塩町教育三者合同送別会〔議長〕

### 3月

- 27 道立羽幌病院における地域医療の充実を求める意見書を道へ持参提出〔札幌市、議長〕
- 31 地域づくりの未来を考える講演会〔中川町、議長・5議員〕

### 4月

- 10 留萌自衛隊駐屯地司令歓迎会〔留萌市、議長〕
- 12 道北地域TPPを考える講演会〔議長・2議員〕
- 13 はなます学園大学入学式・始業式〔議長〕
- 18 天塩町観光協会定期総会〔議長〕
- 20 全員協議会〔全議員〕
- 22 TPPの問題を考える町民セミナー〔議長〕  
小平忠正衆議院議員国政報告会〔議長〕
- 26 留萌自衛隊要望〔留萌市、議長〕
- 29 天塩町観光施設オープン式〔議長〕

### 5月

- 2 JAてしお通常総会〔議長〕
- 7 教育三者合同歓迎会〔議長〕
- 10 サンルダム本体工事凍結解除を求める町民大会〔下川町、議長〕
- 14 天塩商工会通常総会〔議長〕
- 16 全員協議会〔全議員〕
- 17 議会広報特別委員会〔全委員〕

次の定例会は6月7日(木)からの予定です